

第3回河原地域学校再編検討委員会 議事概要

1. 日 時：令和8年8月4日（火） 午後6時30分から午後7時30分まで
2. 会 場：河原町総合支所 3階 会議室
3. 参加者：委員10名（4名欠席）、学校長2名
鳥取市教育委員会3名、河原町総合支所2名
4. 内 容：

報告事項

（委員からの質疑、意見…○、事務局等による回答、説明…●）

（1）地域への情報発信について

●事務局より説明

- ・7月24日に委員会だよりを発行。併せて鳥取市公式ウェブサイトに委員会の内容や資料を掲載。

○質疑、意見等なし

（2）放課後児童クラブの検討について

●事務局より説明

- ・6月25日に各児童クラブの支援員の方等に協議いただいた内容の報告。
- ・夏休み明けにも協議を行い、再編に伴う児童クラブのあり方についての議論を行う予定。

○再編後、放課後児童クラブも同じように統合することとなるのか。散岐小と西郷小のクラブは全学年、河一小は3、4年生までが利用している状況。学校は統合するが児童クラブは現状と同じように配置しておくことはできるのか。

●鳥取市では一つの学校に児童クラブは一つとしている。学年の受け入れについて、河一小のクラブも高学年を受け入れないわけではないが、自立を促す方針もあり高学年は利用者が少ない状況と聞いている。児童クラブ再編の際に受け入れる学年についても検討は必要だと考えている。なお、統合後も地域独自で放課後子ども教室の活動を続けている事例もある。

○今回の協議の参加者数を教えてほしい。

●河一小のクラブから1名、散岐小のクラブから3名、西郷小のクラブから3名に参加いただいた。

○支援員の確保は大きな問題だが、自立している子が多ければ最小限で済むかもしれない。

議 事：

（委員からの質疑、意見…○、事務局等による回答、説明…●）

（1）再編内容の委員提案について

●事務局より説明（資料2）

- ・前回の委員会で委員から提案された、「最初は既存校舎を活用した再編を行い、施設整備完了後に改めて再編する」という考え方を整理する。
- ・既存校舎を活用すれば施設整備を待つよりも早めに開校等は可能だが、開校のタイミング等も検討していく必要がある。

○視察後に改めて義務教育学校化について整理し、その後でこの内容について検討していくことになると思う。今回はこの考え方を示しただけだと認識している。

(2) 義務教育学校について

●事務局より説明（資料3）

- ・前回実施した委員アンケートの設問「今後の義務教育学校化の検討のために必要な情報等」での意見について、各内容の回答を示す。
- ・市内義務教育学校視察について、事前質問の取りまとめについて説明

○校舎の増築等の話も出ているが、子どもにとって魅力のある環境整備についてもこの場で話していきたい。中学校の位置になると遠くなって残念と考える人もいると思うので、遠くなったとしても、変わってよかったと思える環境にしたい。

○（建替えとなる町コミュニティセンターについては現在地での建設が決まっており、）もう遅いが中学校の周辺位置にコミュニティセンターが来てほしいと思っていた。そのような話がこの機会にできればということだと思う。

(3) 通学方法について

●事務局より説明（資料4）

- ・前回までの説明内容や委員からの意見等をまとめた。
- ・今回は、検討委員会での通学方法検討のまとめとして案を示したい。

○河原中学校への通学方法で、徒歩通学となっている佐貫と下佐貫がバス通学の対象地域になればと考えている。

●修正させていただく。

○要望事項について、現在想定される河原第一小学校と河原中学校間の渡一木中学校線や曳田丸山線の問題点については、その代替りの通学路として県道横の歩道を整備してほしいという主旨の意見である。両方を叶えてほしいという訳ではない。県道なので拡幅等は難しいと言われていたが、江山学園につながる県道も拡幅された現状があり、もし学校再編の結果で整備されたのであれば、河原でもそうなれば良いと思っている。

○難しいのは分かっているが、河原橋が古いので、新しく道の駅あたりから河原中学校周辺を繋ぐような橋ができたらと思っている。

その他

●視察について、現在9月中に実施できないかを調整中。参加については改めて取りまとめを行う。次回委員会については、義務教育学校視察後を考えている。視察日程を踏まえながら改めて日程調整をさせていただく。